OPT SHARE 3DCAM

SHARE スラムスキャナー

低価格、高精度・高画像

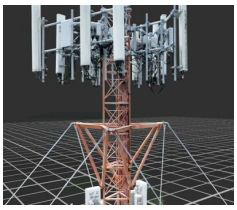
自動で図面作成、3D GS対応




写真計測ソフト『 3DF ゼファー』ガウシアン・スプラッティング搭載！

フォトグラメトリーが苦手としていた「ガラス・金属・車両ボディ」など反射の強いものでも、リアルな3Dモデルを生成する『ガウシアン・スプラット処理機能』が追加されました。**動画ファイル・360度カメラ画像にも対応。**





・販売実績：400ライセンス（納入先：公官庁、教育機関、民間企業） New

株式会社
富士テクニカルリサーチ
FTR Fuji Technical Research

New ***DX推進の最新事例、生成AIの取り組み***







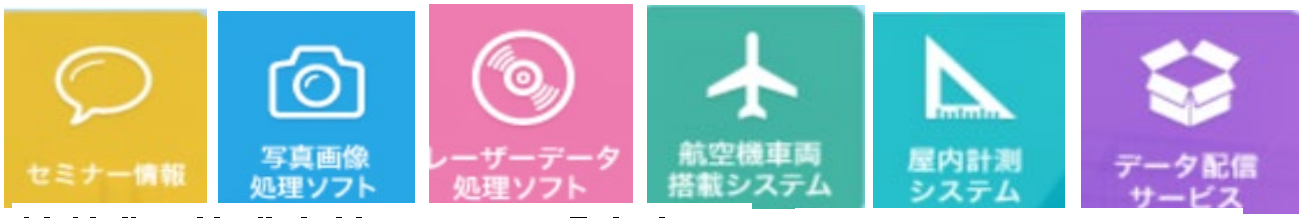


New **第29回 設計・製造ソリューション展** 10月7日（水）～9日（金）インテックス大阪

申し込みはこちら https://www.ftr.co.jp/ftr-seminar2026/

Mirukuru

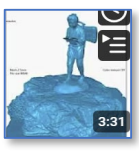
航空測量／レーザー計測業務及びその技術コンサルティング

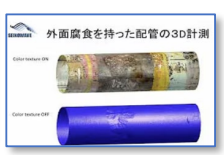


連絡先　株式会社みるくる　篤貞志乃　TEL.03-5422-3207

準備中

SEIKOWAVE セイコーウェーブ







3DSL-Vega

SPARView
Information about the Business and Technology of 3D Imaging
SPAR Japan
SPARView Vol 24, No.43　Nobember 07, 2026

GEO WEEK NEWS

パート 108:BVLOS 革命が始まるが、地図会社はそれに対応できるのか?(その 1)

Part 108: The BVLOS Revolution Is Coming, but Can Mapping Companies Afford It? Part 1

FAA の提案された Part 108 規則と、BVLOS が大小さまざまなマッピング企業の経済にどのような影響を与えるか？



パート 107 導入から 10 年の間に、特に小型ドローンを採用し、航空写真測量をサービスに加える土地測量会社において、航空地図作成の民主化が進んでいる。2016 年の規則であるパート 108 の「アップグレード」が間もなく行われる中、連邦航空局(FAA)の新しい規則を深く検討すると、少なくとも書面上は地図業界にとってあまり有益でない問題がいくつか明らかになった。 FAA が提案する新しい Part 108 規則は航空測量を変革することを約束しますが、Part 107 からの移行は非常に異なる競争環境を生み出す可能性がある。

個別免除から新しい規制枠組みへ

ほぼ 10 年間、アメリカの商業ドローン産業は根本的な矛盾のもとで運営されてきました。技術はますます高度化し、長距離飛行、自律航法、そして膨大な量の地理空間情報を収集できるようになりました。しかし、ほとんどの商業運用を規定する規制は依然として、地上の誰かが空中で航空機と視覚的に接触し続けることを前提としており、これを視覚視線(VLOS)として知っている。 この矛盾は地図会社にとって特にフラストレーションの種となっている。

BVLOS が地図作成の経済性を変革

BVLOS の主な魅力は必ずしもより長距離の飛行能力ではない。作業の中断を減らし、人員の移動を減らし、高価な機器をより効率的に展開できる可能性にある。しかし、重要な条件がある。BVLOS の承認が必ずしも経済性の向上を保証するわけではないということです。 長距離フライトには、信頼性の高い通信、十分なエネルギー予備、適切な航空機性能、効果的な緊急対応手順が必要である。

パート 108 の価値は、運用効率が要件を満たすコストを上回るかどうかで決まる

測量会社の新たな競争環境

Part 107 パイロットを訓練し、処理ソフトウェアを導入し、少ない投資で航空地図作成サービスを開始できた。このアクセスのしやすさは航空データ収集の民主化に寄与しました。Part 108 の下での BVLOS 運用は、異なる経済的環境が必要となる。

2027 年のオープニング基調講演「遺産から長寿へ: Fallingwater」

Geo Week Opening Keynote Explores Digitally Preserving 90 Years of Fallingwater

Fallingwater の先見的なデザインは、保存においても同様に先進的なアプローチを求めている。建築の完全性、文化的意義、そして永続的な遺産を守るためには、ライトの元々のビジョンを尊重しつつ、老朽化した素材、変化する環境条件、世代を超えた視点の変化にも取り組む必要がある。ランドマークが 200 年目に近づく中、GIS と先進的なデジタルツイン技術を統合したチームが主導し、Fallingwater の記録、解釈、保護、長期的な管理を支援する包括的でデータ駆動型のモデルを開発している。



Copy Right 2026 Divesified Communications
Reproduction prohibited All rights reserved
diversified COMMUNICATIONS

BIM からデジタルツインの作成まで、参加者は、プロジェクトの背後にある課題、洞察、革新性、そしてデジタル技術が建築保存、物語、文化遺産体験に新たな可能性を切り開いている様子を学ぶ。

ハロウィンの地図ゲーム

Halloween Special: From Paper Routes to Digital Pins





子供たちが夢中になっている地図ゲームで、見知らぬ人の家を訪ねることが許されているハロウィンで、お菓子をくれる家を地図にマップし、効果的に寄っていく道順を教えてくれる壮大なトリック・オア・トリートがある。

年に一度の夜に最大限のキャンディ獲得のための生存ガイドでした。 あの紙の地図は芸術のようだった。翌日、学校の友達とルートを比べて、冷戦時代のスパイのように情報を交換した。今の子どもたちは紙と鉛筆を必要としません。そのためのアプリがあります。手描きのルートが行ったすべてのこと、そしてそれ以上のことをするインタラクティブマップです。特に 2 つのツールが家族のハロウィン計画を変えています。Nextdoor の Halloween Treat Map と FrightMaps です。どちらも地図技術を使ってリアルタイムでハロウィンの情報をクラウドソースし、口コミだった地域の知識を共有可能で検索可能なインタラクティブなデータに変えている。

コンセプトはシンプルですが素晴らしいです。近所の人々が自分の地域の地図にピンを落とし、ハロウィンへの参加方法を示します。キャンディコーンのアイコンはキャンディを配っていること、お化け屋敷のアイコンは怖い飾り付けを大掛かりにしていること、そしてティール色のカボチャはアレルギーのある子ども向けに非食品のお菓子を提供していることを示します。これは 13 人に 1 人の子どもが何らかの食物アレルギーを持っている場合に重要です。 Treat Map は、Nextdoor が創業以来使用している Google マッププラットフォーム上に構築されています。チームは Google マップを使って近隣の地図をレンダリングし、Google Places を使ってビジネスやポイントオブインタレストのデータを取り込んでいます。このマップが機能しているのはカスタムマーカーシステムです。各世帯が自分のアイコンを地図に配置でき、どの家が明るく照らされてトリック・オア・トリートに迎えられているかをリアルタイムでクラウドソースで確認できまる。

これらのツールで特に注目すべきは、伝統的に都市計画、環境科学、政府インフラに関連してきた GIS 技術を、ハロウィンのためにコミュニティの手に渡したことです。都市のゾーニングマップや洪水リスクモデルを支える同じ空間データの原則が、今や 7 歳の子どもがどの通りにリースを配る家が多いかを判断するのに役立っています。私はそれには本当に美しい何かがあると思います。 これがマッピングの民主化の実践です!Google マップが基盤を提供し、クラウドの貢献がデータレイヤーを提供し、カスタムマーカーやフィルターがユーザー体験を提供する。
(仮装して渋谷の街を騒ぎながら歩き回る(今年は禁止されたが・・)という文化が日本に普及したが、家家を廻ってお菓子を集める習慣は、無いですね、・・・訳者)

＜ウェビナー＞

QGIS と直接接続するクラウドプラットフォーム

The Growth and Use of Open Source in GIS and Commercial Platforms

このパネルでは、QGIS と直接接続するクラウドプラットフォームを持つソフトウェア CEO が、米国 QGIS コミュニティの長年のリーダーであり、企業プロジェクト納入の下流成果に携わる土木 CAD 設計者が 3 つの視点を一つの対話に集めます。彼らは共に、オープンモデルと商用モデルが互いに強化し合う場所、サポート、ガバナンス、セキュリティ、データ標準などの真の摩擦がある場所、そしてオープンであれ独自であれ、いかなるプラットフォームにもコミットする前に実務者が何を尋ねるべきかについて議論する。

Copy Right 2026 Divesified Communications
Reproduction prohibited All rights reserved
diversified COMMUNICATIONS

＜業界ニュース＞

ロボット、モノポリ、橋梁



Around the Geospatial, 3D, and AEC Industries: Robots, Monopoly, and Bridges

測量における自動化

ロボット、ドローン、AI により、多くの現場で複数人による測量クルーが一人の仕事に変わり、自律型張り込みローバー、ドローン・イン・ア・ボックス、無人船が退屈で汚れた危険な作業を担うようになった。しかし、GIM International 特集は、境界の決定、品質保証、専門的責任の責任確保には依然として人間の承認が必要であり、測量技術者からミッション管理とデータの背後に立つ役割へと移行していると主張している。

MONOPOLY: Surveying Edition

数十の業界団体からの意見を集めて測量職への関心を喚起するために作られたこのゲームは、現在予約注文中で、最初の出荷は 12 月に予定されている。

GNSS 技術が世界で最も高い橋を監視

CHCNAV の GNSS 技術は、1,420 メートルの主橋の風、気温、交通による構造物の動きを継続的に追跡する 10 台の監視受信機によって、中国の華江峡橋の安全を守るのに貢献している。

＜プレスリリース＞

トプコンはウィトルウィウス大聖堂の科学的研究と保存を支援するために 生涯にわたる奉仕を継承する

- Topcon to support scientific research and preservation of the Basilica of Vitruvius

CoStar グループが Vexcel を買収し、CoStar 全体で数百億もの新しい AI 由来データフィールドを活用し、世界最大の調査グレードの高解像度航空画像プログラムを追加しました

- CoStar Group to Acquire Vexcel, Adding the World's Largest Survey Grade High-Resolution Aerial Imagery Program to Power Richer Search and Discovery Across CoStar with Tens of Billions of New AI-Derived Data Fields
- Carrying Forward a Lifetime of Service

UgCS 6.3 は磁気調査から LiDAR へ大規模なプロジェクトを拡張 ハリスストウの新しい 6,200 万ドルの STEM 学術センターは、セントルイスの将来のリーダーと労働力の育成を目指しています

- UgCS 6.3 Extends Large Projects from Magnetic Surveys to LiDAR

＜イベント紹介＞



K-Geo Festa - November 4th to 6th

K-Geo Festa は年々、韓国を代表する地理空間政策、技術交流、ビジネスのプラットフォームへと成長している。第 18 回大会は 2027 年 11 月 4 日から 6 日にかけて開催され、「GEO AI、変革を推進し、世界を形作る」というスローガンのもとです。韓国および海外の企業、政府機関、学術専門家がデジタルツイン、ドローン、自動運転、ジオ AI などの分野に集まる

Copy Right 2026 Divesified Communications
Reproduction prohibited All rights reserved
diversified COMMUNICATIONS

COMMERCIAL UAV NEWS



アラスカで XPRIZE 山火事対応競技会

Dryad's Silvanet Network Wins Second Place in XPRIZE Wildfire Competition

Dryad'の Silvanet Network が 2 位を獲得

（こんな競技大会が　開かれるのだ　訳者）







本当に大変で、主催者たちは決して簡単にはさせませんでした。そのエリアは 1,000 平方キロメートルの人里離れた非常に困難な地形で、どこにでも火をつけることができました。私たちのチームはそこにいましたが、何にも触ることは許されませんでした。システムは完全に自律的に動作しなければならず、手を出さなければ失格になっていたでしょう。

センサーが火災を検知し、観測ドローンがその場所に飛んできて、センサーのデータを使って正確な位置を特定した。それから 2 台目のドローンをペイロード(こちらの場合は 40 リットルの水)を発射しましたが、総容量は約 100 リットルです。ドローンは火の上に水を落とし、戻って着陸した

チームが使える道路は一つだけで、ネナナ空港を拠点にしており、展開道路から約 18～20 マイルの距離にあり、約 40 分の距離でした。すべてが完全に手を離し、システムの監視はありませんでした。

オーストラリア、アマゾン、さらにはスコットランドでも発生した。山火事はより破壊的で、頻繁で、速くなっており、より広い地域を焼き払っている。火災は非常に速く拡大するため、10 分以内に消火するのは依然として大きな課題である。

空撮から、緊急救済の実行動へ

From Airborne to Action: Powering the Public Safety Response



Versaterm DroneSense はドローン運用と CAD を連携させ、ディスパッチャー、パイロット、現場要員が地上部隊と連携して航空支援を調整し、ライブ映像を共有し、信頼できる飛行記録を保持できるようにします。約 50 年にわたる公共安全の経験を背景に、Versaterm は機関がドローンを既存のワークフローに組み込むのを支援する。

ドローンプログラムの価値はドローン運用と通信を接続し、必要な人々と航空映像を共有し、飛行活動の信頼できる記録を維持する。その接続がなければ、ドローン支援の調整は指令員、パイロット、現場職員に追加の手順を生み出してしまう。





Versaterm DroneSense は、ドローンが起動した際の位置、持続時間、運用状況などの詳細を記録する飛行情報の収集を自動化し、パイロットがすべての飛行を手動で記録する必要を減らすと、活動の記録がより一貫性が生まれます。 その情報は、プログラムの運営方法についてより情報に基づいた意思決定を支えます。リーダーは活動を確認し、使用パターンを特定し、機関全体でドローン

Copy Right 2026 Divesified Communications
Reproduction prohibited All rights reserved
diversified COMMUNICATIONS

資源の使用状況を評価できます。一貫した記録は、プログラムの活動を意思決定者に報告し、将来の資源ニーズを計画するための基盤にもなります。 データ収集を運用ワークフローに組み込むことで、機関は手動報告が生じるような管理的負担を軽減せずに、ドローンプログラムの可視性を維持できる。

多くのドローンサービス会社が混合機隊を運用している

Planning Inspection and Mapping Missions When Your Fleet Isn't All One Brand



輸入規制により米国の運航者が航空機の追加や切り替えを促す要因もあります。一方で、40 エーカーの調査に最適な機体が、狭い屋根作業に最適な機体であることは稀なので、単なるビジネス上の判断によるものもある。

フロリダで不動産、屋根検査、地図作成の仕事を行っており、オートパイロットを切り替えることから得られる教訓はシンプルである。航空機は変わっても、計画は変わってはいけない。

1. 普段飛ぶ高さではなく、必要な詳細から始めましょう
2. 表面で重なりを設定し、その後、写真を数学的に配置させる
3. 市街地ではなく、その場所の空域と天候のチェックを行う
4. ミッションを標準ファイルで移動し、それぞれの違いを把握する
5. 新型機を既知の小規模な作業で実証すること

EASA 加盟国で無人航空機システム 39 件重大な事故、しかし死亡事故はなし

EASA Annual Safety Review Counts 39 Drone Accidents and Serious Incidents in 2025



2025 年の発生カテゴリーでは、飛行中の操縦喪失が 1 位となり、次いで包括的なカテゴリーとして、空中衝突や近空中衝突、制御飛行、発電装置の故障が続きました。あらゆる種類のシステムおよび部品の故障が 4 件の発生に寄与し、2023 年と 2024 年の平均 2 件と比べて大幅に増加した。

（原文に、詳細内容記載有り・・・訳者）

バッテリー交換の問題

The FAA is Helping Design Vertiports. But Who Will Change the Batteries?





FAA は勧告文章 150/5390-4「垂直飛行航空機インフラ設計」を発表し、米国で高度航空モビリティ(AAM)を商業的現実にするための重要な一歩となった。

eVTOL 機を含む新世代航空機を収容する施設の計画、設計、建設に関する提案された指針を提供している。着陸地点やアプローチ面から照明、屋上設置、電気充電インフラに至るまで、あらゆる内容を扱っている。ガイドラインを見直す中で、一つの疑問がずっと頭に浮かびあがる。それは、誰がバッテリーを交換するのかということです。 ドローンが小型ドローンの運用中に着陸すると、消耗したバッテリーを取り出し、充電済みのバッテリーを取り付けて再び飛行機を空中に送り出します。この作業は 1 分未満で完了し、パイロットまたは他の操作クルーが行う。

eVTOL バッテリーシステムは、高電圧接続、熱管理、高度な電子機器、冷却システム、そして個々のセルの状態を継続的に監視するソフトウェアを組み込むことがあります。これは単なるアクセサリーではありません。航空機を安全に空中に保つシステムの一部である。

Copy Right 2026 Divesified Communications
Reproduction prohibited All rights reserved
diversified COMMUNICATIONS

追跡可能性も重要である。推進バッテリーには個別のシリアル番号、運転時間やサイクルの制限、メンテナンス履歴、ソフトウェア記録が含まれることがある。

航空機の承認された整備プログラムによっては、バッテリーを別のバッテリーに交換するには、取り付け部品の特定や作業の記録が必要になることがあり、 これらの要件は、安全が最優先の業界では当然であろう。



（確かに、ドローン安全運用拡大する上で、重要テーマです・・・訳者）

＜業界ニュース＞

ヘルスケア物流、インフラ保護、自動消火



Around the Commercial Drone Industry: Healthcare Logistics, Infrastructure Protection, Autonomous Fire Suppression

医療品物流

Matternet は Swisslog Healthcare の企業である TransLogic と提携し、TransLogic の既存の販売ネットワークを通じて病院にドローン配送システムを提供しています。Swisslog の自動輸送システムは北米の 2,300 以上の病院で運用されており、そのうち米国の上位 20 病院のうち 18 病院も含まれています。目的は、病院内の空気圧チューブシステムと Matternet のドローンを連携し、異なる施設間で物資を移動させ、より自動化されたエンドツーエンドの配送ネットワークを構築することです。

重要インフラを脅かすドローンを検出

ローアン大学は、アンテナを使ってドローンと操作者の間で通信される無線信号を捉え、両方の位置を検出・推定します。AI アルゴリズムが各ドローンの固有の信号「シグネチャー」に基づいてドローンを検出、分類、位置特定します。 システムの訓練のために、チームは毎週キャンパス内で異なるドローンを飛行させ、他の研究者にも全データセットを公開する計画である。

セネカとカリフォルニア消防局：火災検知・消火

5 機の「自律消火機」と移動航空作戦基地からなるストライクチームが、火災の広がりを防ぐために遠隔地や到達困難な地域の火災を撲滅するために使用されます。消防署長ダン・マンジー氏は、火災が 10 平方フィートを超える前に 90%の火災を消し止めることが目標。

＜プレスリリース＞

AirData と Pilot Institute 統合がドローンパイロット訓練記録を同期 AirData and Pilot Institute Integration Syncs Drone Pilot Training Records

Trimble が WorksManager ソフトウェアにクラウドドローンデータ処理を追加
Trimble Adds Cloud Drone Data Processing to WorksManager Software

Copy Right 2026 Divesified Communications
Reproduction prohibited All rights reserved
diversified COMMUNICATIONS

SPARView
Information about the Business and Technology of 3D Imaging

SPAR Japan

ebrief
October 11, 2026

AUVSI
Association for Unmanned Vehicle Systems International

AUVSI 防衛：開催



AUVSI 防衛は 11 月 9 日から 10 日にかけてワシントン D.C.のナショナルズパークで開催

2 日間にわたり、セッションはその要求の背後にある大統領令や資金から、実際に配備されるものを決定する調達経路、産業能力、戦闘員の要件へと移ります。 摩擦の所在:いくつかのセッションでは、資金調達と配備のギャップを直接取り上げます。一つは、予算と契約授与の間の距離がなぜ広がり続けるのかを問います。別のセッションでは、陸軍と DIU のプログラムリーダーたちが、この瞬間に求められる速度と規模で購入・配備するために何を変えなければならないかを議論する。

BVLOS ドローン運用の拡大には、強靭な衛星接続性が必要

https://www.viasat.com/perspectives/aviation/2026/beyond-visual-line-of-sight-satellite-autonomous-aviation/
衛星通信が自律飛行に必要な安全基盤と規制上の信頼をどのように提供するか議論する。

＜会員紹介＞KOR Technik

Technik は、輸送や保管中の高価値機器を保護するために、使い捨てフォームの再利用可能でカスタマイズ可能な代替品である KOR®プロテクションシステムを製造している。

Fairbanks Morse Defense　荒海から USV 回収



ノルウェーに拠点を置く企業 Vestdavit が開発した完全自律型船舶回収インターフェースである AutoHook をパリで開催された Euronaval 2026 で発表した。組員の介入なしに船を追跡、固定、回収する。

既存のダビットワイヤーをウインチやダビットの改造なしにクランプし、追加のクレードルを不要にできる。

DRONE RESPONDERS
THE WEEKLY REPORT
Presented by AXON



ドローン対抗 Security Industry & SLTT フォーラム

連邦のリーダー、公共安全実務者、業界の専門家から、新たなドローン脅威、対 UAS の優先事項、政策動向、新技術、州および地方機関を支援する資金調達の機会

マディソン警察（MPD）



Copy Right 2026 Divesified Communications
Reproduction prohibited All rights reserved

ドローン救急システムをファーストレスポンダープログラムとして採用
連邦助成金の申請決議を承認した。

ドローンがジャージー空港を 2 晩連続で混乱させた



警察は目撃者を求めています。

盗難車がシンプソンビルに突入



2 人のティーンを捕まえた K-9 追跡チームとドローン操作員の様子を公開、

DRONERESPONDERS Innovation Series:



DFR と UTM の融合、低高度空域の大規模対立回避

ドローンをファーストレスポンダーとして利用するプログラムは全国的に拡大しています。各州では州全体の DFR ネットワークが探索されており、商業荷物配送も同時に拡大しています。これにより、同じ低高度空域、しばしば同じ近隣地域により多くの航空機が入ります

ジップライン：より静かなドローン配達を発表



騒音や住宅用ドローン運用への懸念が高まる中、ドローン配達や音響への曝露が 68%減少したと報告している。



ギリシャのメーカーが 120 分の飛行時間を持つ電動ヘリコプタードローンを発表



最大 2 時間の飛行時間とペイロード 11kg のヘリコプターV4 を発表した。

DJI Enterprise 緊急対応、検査、測量、公共安全などの用途向けに設計された新しいプロフェッショナルドローン、Matrice 5T を発表



高解像度のサーマルイメージングと強化されたナイトビジョン、高度な障害物検出、機内 AI コンピューティングを組み合わせています。最大 59 分の飛行時間を公称する Matrice 5T は、厳しい環境での過酷なミッションに対応できる多用途プラットフォームである。

Copy Right 2026 Divesified Communications
Reproduction prohibited All rights reserved
diversified COMMUNICATIONS

英国の航空規制当局、ドローン検査による騒音迷惑について警告



Read more

ドローンはヘリコプターや他の従来型航空機よりもかなり静かかもしれないが、小包配達やインフラ検査などの用途での大規模な使用は依然として騒音の迷惑を引き起こす可能性がある。



7 年前、商業ドローン産業の将来に関する予測は野心的な描写を描いてた。広範な BVLOS 運用、自律型ドローン配送、そして都市空域の常態化が現実になると期待されていた。その後、どうなったか？　また未来は？

Read more

ジャージー島の空港が未確認ドローンで 2 晩連続で運航を停止



Read more

ドローンが実際に現地に存在しているかどうかを判断し、存在する場合は識別・追跡を支援するための追加の探知能力を提供する予定である。

屋根検査、建物の 3D モデル作成、エリアのマッピングは時間がかかる。Skyplanr は AI 搭載で計画を簡素化



このツールは、ユーザーがタスクを平易な言葉で説明できるようにします。Skyplanr はその指示を完全なドローン飛行計画に翻訳し、事前チェックも含む。

ヨーロッパがドローンの封じ込めの新たな基準を策定



3 つの新しい欧州規格ジオアウェアネス、ジオケージング、フライト終了システムの明確な要件を確立することでドローン運用の安全性を高めることを目的としている。

＜訳者コメント＞

1) パート 108:BVLOS 革命（視界外飛行），日本の地理会社は対応できるのか？
2) DX で世の中変わる。 ゲームで鍛えた子供の方が先進技術を修得、
3) 社会改革、理論・理性では限界。その解決に感性・芸術では、日本は、決して劣っていない。
4) 災害直後の人命救助、日本の文化の強み、
5) バッテリー交換の問題、ドローン普及時の重要課題、

2026-11-8　SPARJ 河村幸二

Copy Right 2026 Divesified Communications
Reproduction prohibited All rights reserved
diversified COMMUNICATIONS